学校だより
薫る双葉
～チームワーク・フットワーク・ネットワーク～
令和８年９月１５日
第１１号

夏 休 み の 思 い 出

２学期が始まって２週間余りが過ぎました。
子どもたちも学校生活のペースを取り戻し、授業中や休み時間には、校舎内や運動場に明るい声が響いています。
先日、２学期の始まりに合わせて、「ともだち」にかんするアンケート実施し、子どもたちには夏休みの生活についてふり返ってもらいました。その結果に少し触れたいと思います。

問１　夏休み中は、楽しく過ごせましたか。（回答数　251 名）
- ・楽しく過ごせた　２０８名
- ・まあまあ楽しく過ごせた　４２名
- ・あまり楽しくなかった　１名

ほぼ全員が、楽しい夏休みを過ごせたようです。
教室に掲示されている「夏休みの思い出」の記録を読むと、様々な体験や経験が、鮮やかに目に浮かんできます。そのくらい、充実した夏休みだったのだなと感じています。

問２　夏休み中に、チャレンジすることができましたか。（回答数　251 名）
- ・できた　１１０名
- ・まあまあできた　４６名
- ・あまりできなかった　７７名
- ・できなかった　１８名

「できた」、「まあまあできた」と答えた児童が、全体の６割強（62.2%）を占めました。
自主学習や読書、習い事、早寝早起き等、子どもたちは様々なことにチャレンジしたようですが、中にはお料理やお掃除（お風呂掃除を含む）、洗濯（干す、たたむ等）、洗い物やお皿の片付け等、「お手伝い」をチャレンジしたことに挙げた子が多かったことに、嬉しくなりました。
学級懇談会の資料の中で、「命と安全を守ること」、「規則正しい生活を維持すること」、「夏ならではの体験をすること」の３点をご家庭にお願いしました。さらに、「規則正しい生活を維持すること」として、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を崩さないことと、「１日１つの小さなお手伝い」を日課とすることもお願いしました。
ご家庭において、これらのお願いを実践していただいたことに、改めて感謝申し上げます。
今後もご家庭内で、発達段階に応じて、考え、判断させる機会を増やしていただくとともに、できる限りお子さんに任せ、やりきらせることで「自立心」を育んでいただけたら幸いです。

科学作品展へ出品しました

去る９月 12、13 日の２日間、市民センターにおいて「第 73 回銚子市小中学校児童生徒・教職員科学作品展」が開催されました。
双葉小学校からは、科学工夫作品 19 点、科学論文 18 点、標本４点の計 41 点を出品しました。
出品者は次のとおりです。
【科学工夫作品の部】
１年生　丸山　　凪 さん　鈴木　琉叶 さん　山嵜　華央 さん
２年生　岩田　悠汰 さん　橋本　壱晟 さん　久保　海璃 さん　川﨑　絢翔 さん
　　穴澤　知佳 さん
３年生　木藤　萌結 さん　青野　泰大 さん　印野ましろ さん
４年生　伊藤　千尋 さん　和田　有生 さん　村田　　光 さん　峰岸　　光 さん
５年生　島田　　昊 さん　豊田　　丞 さん
６年生　苫谷　稜太 さん　木内　郁斗 さん

【科学論文の部】
１年生　伊東壮一郎 さん　宮内　唯華 さん　飯島工之助 さん
２年生　齋木　結心 さん　濱口　　奏 さん
３年生　柳澤　歩穏 さん　飯島想一郎 さん　中川原昌太 さん
４年生　淺田　歩花 さん　塩地　茉和 さん　栁澤　直希 さん
５年生　三浦奈々海 さん　髙橋　　杏 さん　渡部　　侑 さん
６年生　田中　航平 さん　石井　杏果 さん　笠原　映那 さん　木藤　絢萌 さん

【標本の部】
１年生　滑川　聖桜 さん
３年生　池永　胡桃 さん
５年生　東　　和緒 さん
６年生　近藤　美結 さん

なお、次の児童が入賞しました。
おめでとうございます！

【科学工夫作品の部】

第一地区協議会会長賞	３年生	印野ましろ さん	「おばけのしろをだっしゅつせよ！」
銚子テレビ放送賞	２年生	樋本　壱晟 さん	「ピンポンバスケット」
金　賞	５年生	島田　　昊 さん	「ビーダマコースター」
銀　賞	５年生	豊田　　丞 さん	「みんな楽しめる貯金箱ルーレット」
佳　作	２年生	岩田　悠汰 さん	「ＵＦＯから逃げろ　Part２」
佳　作	４年生	和田　有生 さん	「はね橋」
佳　作	６年生	苫谷　稜太 さん	「電磁石で走るリニアモーターカー」
佳　作	６年生	木内　郁斗 さん	「輝く夏の銚子花火」

【科学論文の部】

小中学校校長会会長賞	３年生	飯島想一郎 さん	「絶滅危惧種のニホンカワトンボの生態調査！３～ニホンカワトンボの保全と繁殖に向けた取組～」
第一地区協議会会長賞	１年生	飯島工之助 さん	「どんどんふえる！なぞのうきくさはどうやってふえるのか～アゾラ・クリスタータについてのけんきゅう～」
銚子テレビ放送賞	６年生	石井　杏果 さん	「植物の好物は水のみなのか part２」
金　賞	４年生	淺田　歩花 さん	「酸性雨と同じ酸性のお酢で溶ける身近なものは何か？」
金　賞	６年生	木藤　絢萌 さん	「水源と川の長さによる『水質』の違い～銚子市・能代市・八峰町の水道水の比較～」
銀　賞	５年生	髙橋　　杏 さん	「エビの卵はなぜ青いのか？」
銅　賞	２年生	濱口　　奏 さん	「切った野菜の大へんしん～１０種類の野菜ののび方大じっけん～」
銅　賞	３年生	柳澤　歩穏 さん	「なっとうどうなる！？ネバネバのひみつ」
佳　作	１年生	伊東壮一郎 さん	「『とうもろこし』あるからポップコーンをつくろう」
佳　作	１年生	宮内　唯華 さん	「まなつのこうえん　くろいろのゆうぐにちゅういしてあつさをけいげんしよう」
佳　作	３年生	中川原昌太 さん	「糸電話をよく聞こえるようにするには？」
佳　作	４年生	栁澤　直希 さん	「過冷却～水が０度でも凍らない？」
佳　作	５年生	渡部　　侑 さん	「海岸に漂着したごみの種類に関する研究」

【標本の部】

銚子テレビ放送賞	３年生	池永　胡桃 さん	「銚子の海の貝がら標本」
金　賞	６年生	近藤　美結 さん	「ビーチコーミングで見つけた海の宝物」

最後に、受賞作品のうち結果一覧に講評が掲載されたものを紹介します。
なお、科学論文の部で「小中学校校長会会長賞」を受賞した、３年１組の飯島想一郎さんの作品が、県の審査会へ出品されることになりました。

【科学工夫作品の部】

第一地区協議会会長賞　３年生　印野ましろ さん　「おばけのしろをだっしゅつせよ！」

針金と針金が接触すると光と音が出るしくみになっている。光と音が出てしまうとおばけに気付かれてしまうので、おばけに気付かれないようにゴールするゲーム性がある。また、ミイラとコウモリの部分に磁石が付いていて、コウモリが動き、見張っているようになっているのもおもしろい。

銚子テレビ放送賞　２年生　楠本　壱晟 さん　「ピンポンバスケット」

ゴムの力を利用して、バスケットボールに見たてたピンポン玉を発射機から飛ばし、バスケットゴールに入れる工作である。発射機の向きを変えることができるので、ゴムの力加減を工夫するとすべてのゴールにシュートを入れることができる。ボールが手元に戻ってくるような工夫もされている。

【科学論文の部】

小中学校校長会会長賞　３年生　飯島想一郎 さん　「絶滅危惧種のニホンカワトンボの生態調査！３～ニホンカワトンボの保全と繁殖に向けた取組～」

１年生からの継続的な探究が光る、丁寧で素晴らしい研究である。水質や植物などカワトンボの共通の生息条件を徹底調査し、自作ビオトープへのヤゴ放流を通じた新たな発見や、那須市での似たトンボの調査も標本とともに詳しく考察している。地域に根ざした着実なデータ蓄積と、生き物への深い愛情が感じられる見事な仕上がりである。

第一地区協議会会長賞　１年生　飯島工之助 さん　「どんどんふえる！なぞのうきくさはどうやってふえるのか～アゾラ・クリスタータについてのけんきゅう」

庭のビオトープの様子から気づき、研究の仮説に繋げていた。自分が今まで知らなかった事柄を調べ、実験を行い、分かりやすくまとめられている。最後には、自分の考えやアゾラ・クリスタータをどうしていけばよいかについて言及しており、ぜひ、今後の研究に繋げてもらいたい。

銚子テレビ放送賞　６年生　石井　杏果 さん　「植物の好物は水のみなのか part２」

前回の水以外で植物は育つかの実験に続き、今回は水以外で植物がどれだけ長持ちするか、７種類の飲料を使って実験している。一番長持ちする飲料が自分の予想と違うとわかると、なぜそのような結果になったのかさらに調べられている。次回の他の植物も同じなのか、環境の違いで変わるのかの実験結果も楽しみである。

【標本の部】

銚子テレビ放送賞　３年生　池永　胡桃 さん　「銚子の海の貝がら標本」

銚子の長崎海岸で採集した 24 種類の貝殻を標本にし、流れてきた貝の多様性を調査した。多様な魚が水揚げされる銚子の海の特性に着目した本調査では、似ている貝に比べて、水を綺麗にする働きをはじめとする貝の別の一面を新たに発見することができた。また、銚子の豊かな海の生態への理解を深めるとともに、自分の地域の海を守ることへの気づきがあった。

HP でも学校の様子をご覧いただけます　https://www.city.choshi.chiba.jp/edu/school/es-futaba/